

# 最新型印刷機を導入

## ビジネスフォームに特化 後工程拠点も建設

### 田中印刷

【京都】田中印刷（京都市南区、田中正雄社長、075・9333・2191）は、ビジネスフォーム印刷の受注拡大を狙い、最新型の印刷機を導入するほか、データプリントや封入封緘といった後工程を一貫して行う拠点を本社近くに立ち上げる。印刷機は10月、後工程拠点は8月にそれぞれ稼働。印刷業界は人口減やデジタル化の進展で縮小傾向にあるが、ビジネスフォームに事業を特化することで生き残る。

印刷の品質を確保する1メガも設置し、投資額は約1億2000万円。納

付書や伝票、請求書といった各種ビジネスフォームのほか、高水準の品質確保が求められる医薬品説明書などの印刷にも対応する。

一方、後工程では本社と同じ久世工業団地の空き工場に拠点を確保。本社工場から設備を移設す

るほか、封入封緘機を新設するなどして生産効率を高める。

同社の売上高は約11億円。東京に営業所を持つほか、大手印刷会社から外部委託を受けるなどして京都近郊以外からも受注を拡大している。主力のビジネスフォーム印刷では、後工程を含めたトータルで受注できる体制を強化し、今後も事業拡大を狙う。

## 伊製測定機の受注開始

### 日本バイナリー車・機械向け3種

日本バイナリー（東京都港区、吉水瑞晴社長、03・5427・7111）は、イタリアのトメラリーエンジニアリング製の多関節アーム型3次元測定機「エクスプローラー」シリーズ3種の受注を始めた。最大測定範

囲が、ミ、セ、で、